

特集

「発達障害」は当事者に聞け！

なぜ発達障害は当事者が
エビデンスをつくらることができるのか

｜ 狩野祐人

発達障害の自助グループでは、
どのような「知」が生まれるのか

｜ 横道 誠

当事者が開発したライフハックは
“疾患名”を超える！

｜ 鈴木大介

ASD/ADHDを分ける
(厳密に診断する)意味はあるのか？

｜ 兼本浩祐

未来に受け継ぐ当事者研究の成果
『当事者研究の誕生』より

｜ 綾屋紗月

脳内他動

｜ 柴崎友香

【対談】

われらADHD探検隊

｜ 高野秀行×角幡唯介

*予定ですので、著者、内容含めて変更になる場合があります。

編集後記

今月の特集に関する取材で耳にしたのは、「適切な治療を、円滑に受けてほしい」という看護師さんたちの切なる願いでした。中でも印象的だったのが、スーパー救急病棟の現状です。身体管理が厳密なクロザピンによる治療も推奨されているし、電気けいれん療法での全身麻酔の管理も必須。精神状態の悪い方の入院が多数ある中で、全身やけど、腫瘍、骨折外傷、産褥期の方などへの処置とケアに、「身体科への受診・入退院」が加わります。「一般救急よりも人手が必要なんじゃないかと思っています。やったことのない処置もどんどん必要になります。でも、せっかくの入院の機会だから適切な治療を受けて、全身状態やADLを少しでも上げて退院してほしい。精神疾患があるからといって、その人の限界を決めつけない」と、おっしゃっていた森川さん、尾種さん（特集p510）、お話を聞かせてくださり本当にありがとうございました。（米沢）

現在9月末、暑い暑い夏がとうとう終わりそうな気配ですが、皆さんは夏休みはどこかへ行きましたか？ 私は超円安に泣きつつもオランダに一人旅に行ってきました。アムステルダムのような都会には目もくれず、もっぱら田舎ばかりで過ごしたのですが、さすが2023年の世界幸福度ランキング5位の国だなと思いました（ちなみに日本は47位）。単純に言って、自然が日常にあり、他者との会話があれば、人は安心を得て幸せを感じるものなんだなって思いました。オランダは人口2000万人にも満たず、国土は日本の九州と同じ415万haしかないんですが、平地ばかりで山がない。自転車でもどこまで行けて、電車に乗ってもすっかすかなので、身体がゆったりとゆるむ感じがありましたね。ヨーロッパの田舎、癖になりそうです。今度は幸福度1位の国フィンランドにその理由を知りに行きたいなと思ったりしています（オープンダイアログ発祥の国ですしね）。（石川）

精神看護 第26巻第6号 2023年11月15日発行（隔月刊） 発行：株式会社医学書院 代表者：金原俊 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo ©2023, Printed in Japan 販売・PR部：☎03-3817-5650

「精神看護」編集部：☎03-3817-5769 FAX03-5804-0485 担当：米沢・石川・木下 E-mail：seikan@igaku-shoin.co.jp

本文・表紙デザイン：高見清史 (view from above) 表紙・目次写真：齋藤陽道 印刷・製本：アイワード

1部定価：1,650円（本体1,500円＋税10%）

2023年年間購読料（送料弊社負担、年間6冊）：冊子版8,382円（本体7,620円＋税10%）／冊子＋電子版（個人）11,682円（本体10,620円＋税10%）／電子版（個人）8,382円（本体7,620円＋税10%）

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】（出版者著作権管理機構 委託出版物）

本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（☎03-5244-5088、FAX03-5244-5089、info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

*「精神看護」は、株式会社医学書院の登録商標です。